

目次

□巻頭言 学会講演会と外国語最上 武雄 / 1

□国産建設機械のルーツを探る / 3

ブルドーザ角 又 幸 / 4

スクレーパ野村 光治 / 6

ショベル系掘削機杉山 庸夫 / 9

車輪式トラクタショベル福島 次男 / 11

ダンプトラック高木 和広 / 13

トラッククレーン澤 静 男 / 16

ディーゼルバイルハンマ西村 正二郎 / 18

シールド掘進機小竹 秀雄 / 20

モータグレーダ内田 保之 / 22

ロードローラ倉田 保造 / 25

コンクリートプラント・コンクリートポンプ須藤 三郎 / 27

アスファルトプラント・アスファルトフィニッシャ倉田 保造 / 29

ポンプ浚渫船高山 二郎 / 31

□随想 この頃考える事吉田 驥 / 34

本州四国連絡橋大鳴門橋下部工の施工計画今中 靖雄 / 37

新宿野村ビル新築工事の施工寺小 嘉昭 / 48

上越新幹線中山トンネルにおける NATM の施工実績矢木 康照 / 55

騒音対策型ブルドーザの開発塩野 久夫 / 62

昭和 52 年度建設機械展示会 (東京) 見聞記平野 国生 / 68

グラビヤ—昭和 52 年度建設機械展示会

昭和 52 年度建設機械と施工法シンポジウム後藤 勇 / 71

□新機種ニュース調査部会 / 75

□整備技術
予防保全 (TPM) の進め方整備技術部会 / 77

□ISO 規格紹介
建設機械の安全性の必要条件および居住性に関する ISO 標準規格 (3)ISO 部会 / 79

□統計
建設工事費デフレクタ・建設工事施工額・建設機械取得額・建設機械生産調査部会 / 81

理事会の開催 / 82

行事一覧 / 82

編集後記(田中・中田・水野) / 84

◀表紙写真説明▶

新宿野村ビル

建築主 野村不動産株式会社
施工 株式会社 熊谷組

本建物は新宿新都心地区に建設されている第6番目の超高層ビルである。本建物と環境の設計には「協調性の尊重」、「安全性の追求」、「省エネルギー対策」の三つのテーマを基本とし、「生き生きとしたヒューマンスペースの創造」の基本理念にマッチした理想的なオフィスビルとして計画されている。

昭和52年10月現在、アルミのカーテンウォールの外装が完了に近づき、新都心地区で最も深い地下5階の周辺部の躯体工事もほどなく終り、工事は終盤の仕上げ工事、外構工事へと進み、昭和53年5月末の竣工を目指して各工事とも順調に進行している。

(詳細は本誌 48 頁参照)